

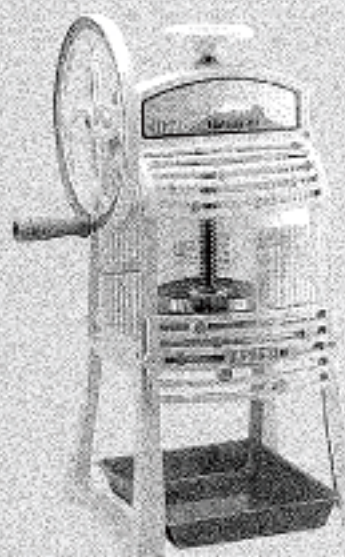


Hatsuyuki ブロックアイススライサー

取扱説明書

ブロックアイススライサー

型式/HA-110S



- このたびは、初雪ブロックアイススライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用



も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	3
■付属品	3
■注意ラベルの貼付位置	4
■設置と運転前の確認	5
■ご使用方法	6
●運転の手順	7
●円盤上の氷の取り出し方法について	9
●強弱調節ボルトについて	9
■刃物の交換のしかた	10
●刃物の取り外し・取り付け方	10
■お手入れ	11
●毎日のお手入れ	11
●汚れが目立つときのお手入れ	12
●1ヶ月に1回のお手入れ	12
●保管方法	12
■故障の見分け方と処置方法	13
■譲渡・廃棄	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション




安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

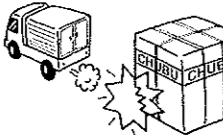
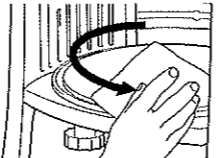



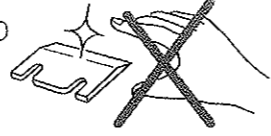



	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

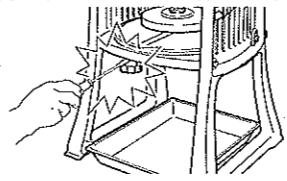

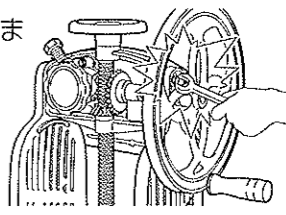

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

<p>お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること</p> <p>もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、ケガの原因となります。</p>  	<p>円盤上を掃除するときは、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと</p> <p>ケガの原因になります。</p>  
<p>この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと</p> <p>ケガの原因になります。</p>  	<p>氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと</p> <p>ケガの原因になります。</p>  
<p>掃除・点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと</p> <p>刃物・氷押えのクギがあり、触れるとケガをします。</p>  	<p>製品に直接水をかけないこと</p> <p>錆、故障の原因になります。</p>  

警告

<p>修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）</p> <p>異常作動してケガをしたり、修理に不備があると故障の原因になります。</p>  	<p>改造は絶対におこなわないこと</p> <p>ケガの原因になります。</p>  
---	---

注意

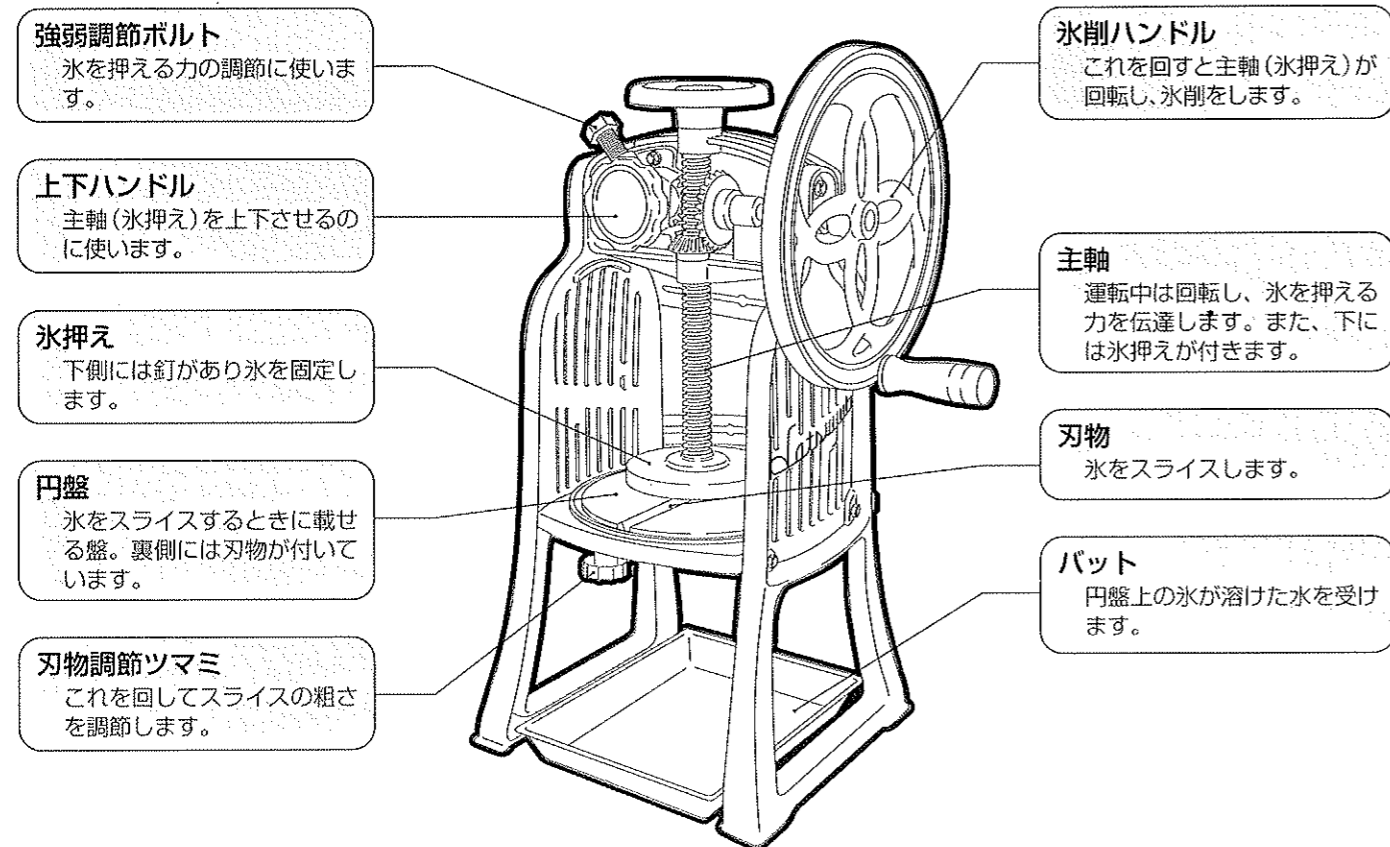
<p>丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること</p> <p>据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。</p>  	<p>氷押えのクギに手を触れないこと</p> <p>触れるとケガの恐れがあります。</p>  
<p>水滴が落ちてもしよところに据え付けること</p> <p>周囲の機器を濡らすことがあります。</p>  	<p>熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと</p> <p>熱でプラスチックが溶けたりして危険です。</p>  
<p>直射日光の当たるところで使用しないこと</p> <p>プラスチックが割れたりして危険です。</p>  	<p>氷のセットは、確実にすること</p> <p>不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり、危険です。</p>  
<p>円盤・氷押えは使用前に必ず掃除をすること</p> <p>掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になります。</p>  	<p>廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること</p> <p>放置しますとケガの原因になります。</p>  
<p>強弱調節ボルトの調節は、上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらないよう調節すること</p> <p>ケガの原因になります。</p>  	<p>このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること</p>  

各部のなまえとその働き

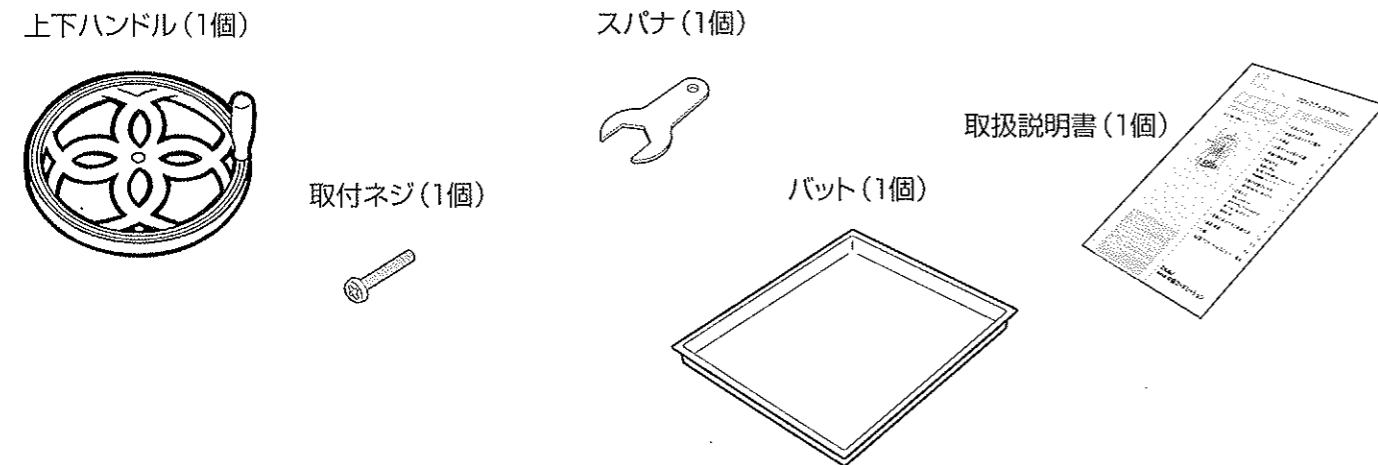
■使用目的

- 本製品はブロックアイスからスライス氷(かき氷)を作るための機械です。
ブロックアイス以外のものは使用しないでください。
※ブロックアイスとは…氷販売店で扱っている1貫目の氷の半分(半貫目)約13cm角の氷塊です。

■本体



■付属品

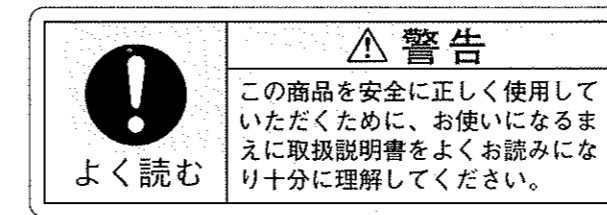


■注意ラベルの貼付位置

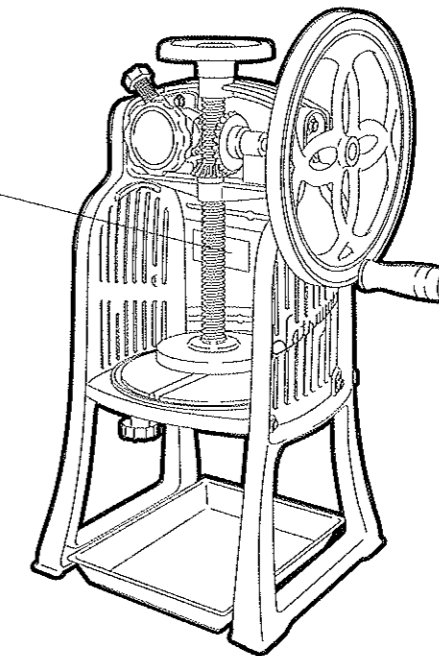
お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：PLラベル 701



(切削室奥の仕切り板に貼り付けてあります。)



■設置

⚠ 警告

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

ケガの原因になります。



禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

水滴が落ちてもしよところに据え付けること

周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

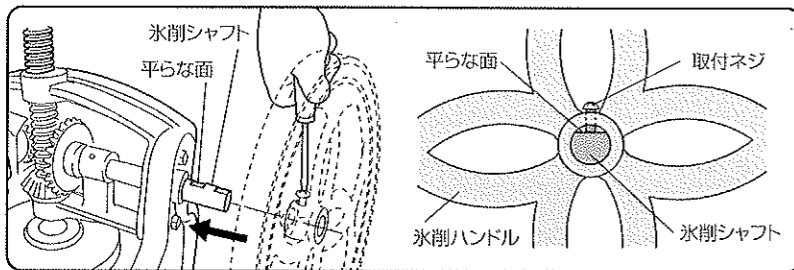
熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

■運転前の確認

●氷削ハンドルを次の要領で取り付けてください。



氷削ハンドルを製品に⊕ドライバーを使い、付属の取付ネジで取り付けてください。その際、取付ネジが氷削シャフトの平らな面と合うように締め付けてください。平らな面をネジで止めていないと氷削ハンドルがすぐにガタ付きますのでご注意ください。

●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削部に入っている恐れがありますので、円盤・氷押えを掃除をしてください。

■その他

●地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されていない場合がありますので当該機関(保健所等)までお問い合わせください。

⚠ 警告

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁止

⚠ 注意

氷のセットは確実にすること

不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり、危険です。



確認

氷押えのクギに手を触れないこと

触れるとケガの恐れがあります。

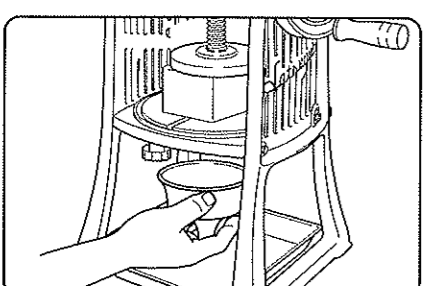
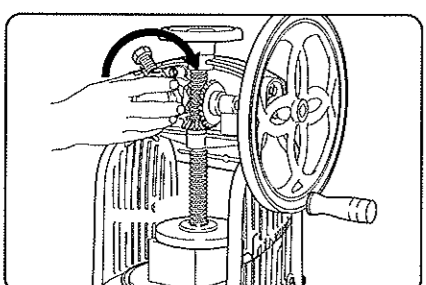
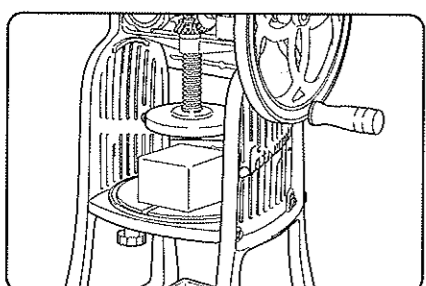
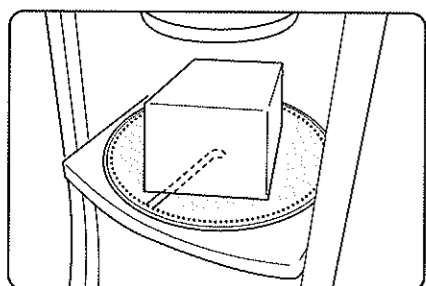
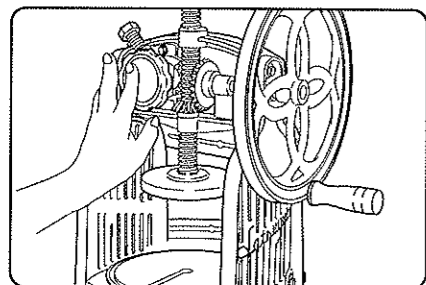
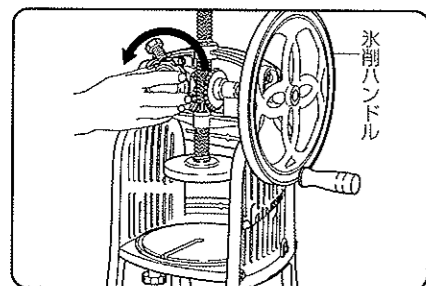


禁止

お願い

- (1) 氷が白色で不透明なときは硬すぎて切削には不向きです。透明になるまで待つて使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は、粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもありますので、必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。
- (2) 製品の上に物を載せないでください。

■運転の手順



1 氷をセットする。

- 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げてください。

- 上下ハンドルから手を離して氷押えが落ちないことを確認してください。

※落ちるとケガをしますので注意してください。

- 円盤の中心に氷をのせます。氷が円盤よりはみでないようにしてください。はみ出ると氷が削れなかったり、斜めに削れて氷が飛び出したりすることがあります。

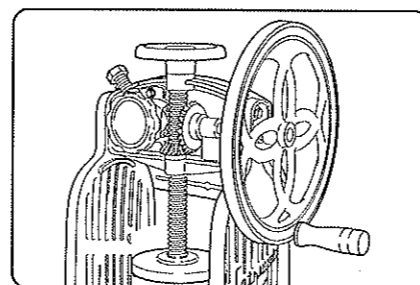
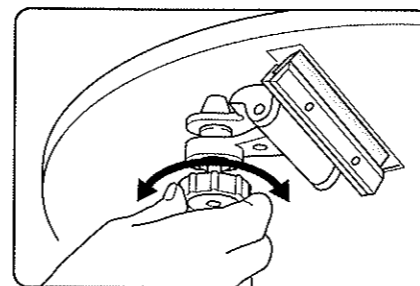
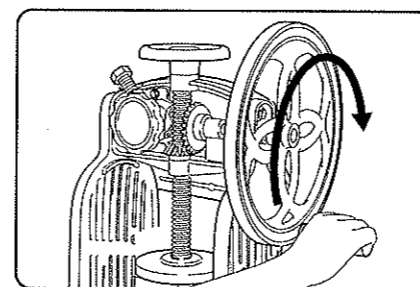
※氷押えのクギ及び刃物に触れないでください。触れるとケガをすることがあります。

- 氷から手をはなしてください。

- 上下ハンドルを時計方向に回し、氷に氷押えのクギをくいこませて確実に固定します。不十分ですと氷が飛び出る恐れがあり、危険です。

2 カップを受ける。

- 円盤の下にカップなどの容器を受けてください。



3 氷削ハンドルを時計方向にまわす。

- 氷削が開始されます。

4 氷削粗さの調節をする。

- 刃物調節つまみをまわして、お好みの粗さにします。
標準粗さ約1mm (円盤上面から刃先までの高さ)
- 右にまわすと粗くなり、左にまわすと細くなります。
- 刃物調節つまみ1回転で約1mm動きます。
回転可能範囲2~3回転

5 氷削ハンドルを止める。

- 氷削が停止します。

刃物の交換のしかた

■円盤上の氷の取り出し方法について

⚠ 警告

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと
ケガの原因になります。



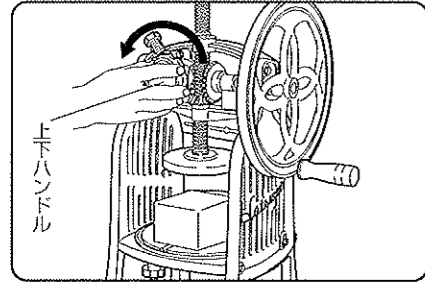
禁止

⚠ 注意

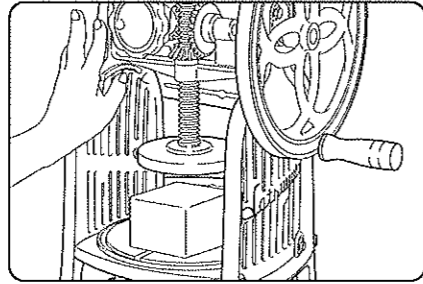
氷押えのクギに手を触れないこと
触れるとケガの恐れがあります。



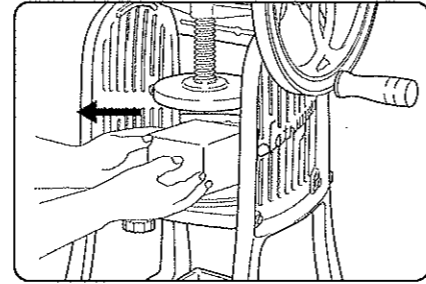
禁止



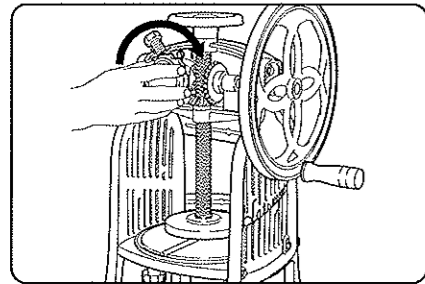
1 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。



2 上下ハンドルから手を離し、氷押えが落ちないことを確認します。



3 円盤から氷を取り出します。



4 氷押えは、上下ハンドルを時計方向に回して下げておいてください。

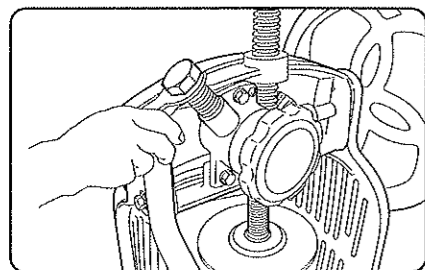
■強弱調節ボルトについて

⚠ 注意

強弱調節ボルトの調節は、上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらないよう調節すること
ケガの原因になります。



調節



氷を押える力の調節に使います。

- 調節には付属のスパンを使用します。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわして力を確認します。
上下ハンドルから手をはなしても下へ下がらず、上げる時に重くない程度が最適です。

⚠ 警告

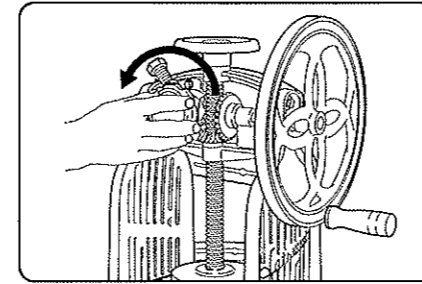
掃除・点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

刃物・氷押えのクギがあり、触れるとケガをします。

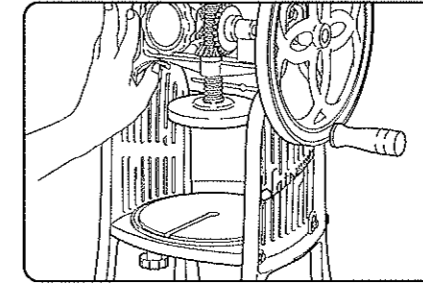


素手禁止

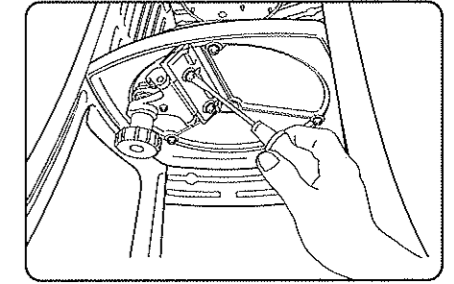
■刃物の取り外し・取り付け方



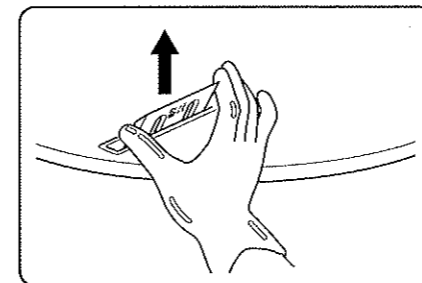
1 上下ハンドルを反時計方向にまわして、氷押えを上げてください。



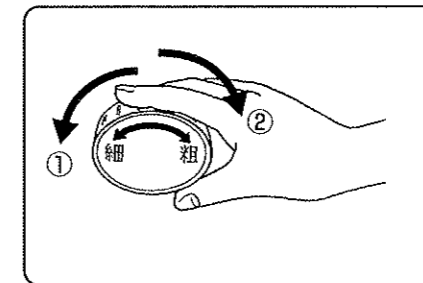
2 上下ハンドルから手をはなして氷押えが落ちないことを確認してください。



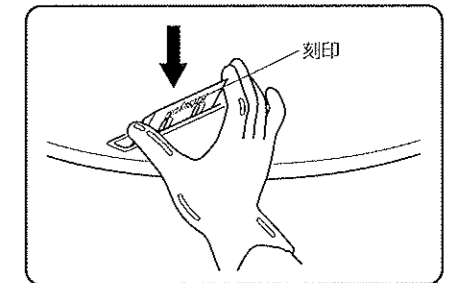
3 刃物固定ネジ(2本)をドライバーでゆるめてください。



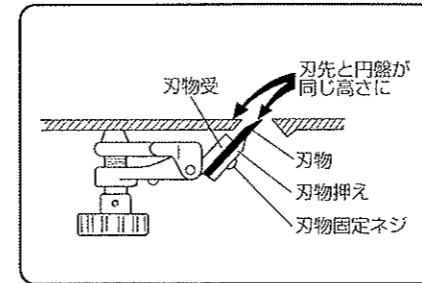
4 刃物を円盤の上側へ引き抜いてください。



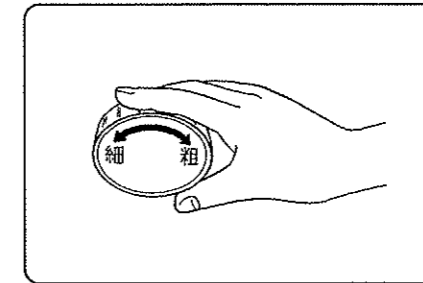
5 刃物調節ツマミを左へ一杯にまわしてから、右へ約半回転戻してください。



6 新しい刃物の「Hatsuyuki」という刻印が刃物押え側になるようにして円盤の上から刃物受と刃物押えの間に差し込んでください。



7 刃先が円盤上面と同じ高さで、平行になるようにして刃物固定ネジで固定してください。



8 氷を削り、刃物調節ツマミを右にまわしてお好みの粗さに調節してください。

お手入れ

警告

掃除・点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと



刃物・氷押えのクギがあり、触れるとケガをします。

素手禁止

円盤上を掃除するときは、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと



ケガの原因になります。

刃物を下げる

注意

円盤・氷押えは使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



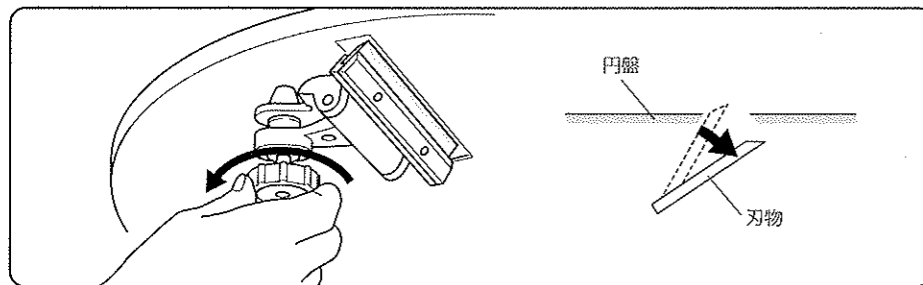
掃除

お願い

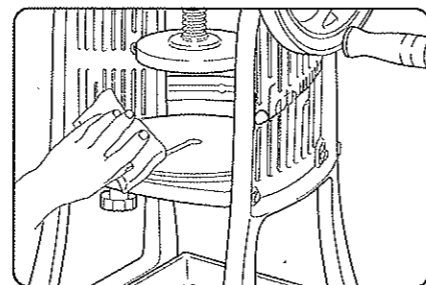
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- 塗装面・プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

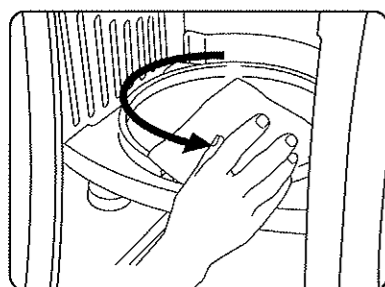
●円盤・氷押え・バット



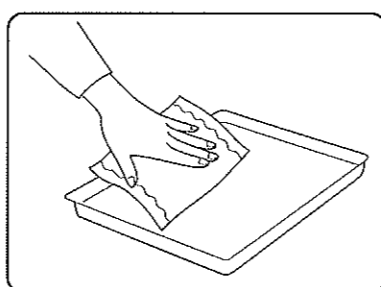
1 刃物調節ツマミを左へ一杯にまわして刃物を円盤上面より下げてください。



2 めるま湯を含ませた布巾で円盤の周囲・溝・フレーム・氷押え等を拭いてください。

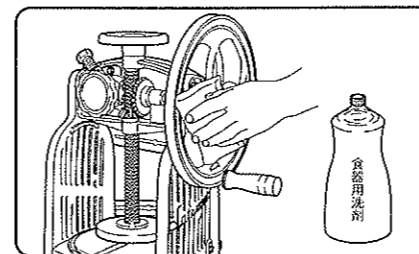


3 めるま湯を含ませた布巾で円盤上を反時計方向に拭いてください。時計方向には絶対に拭かないでください。ケガをすることがあります。



4 めるま湯を含ませた布巾でバットを拭いてください。

■汚れが目立つときのお手入れ（製品外面）



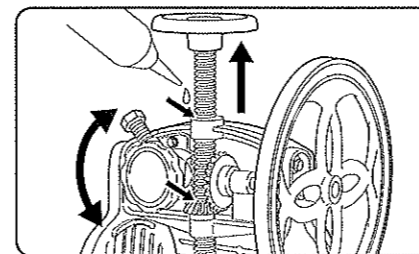
- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 落ち難い汚れはぬるま湯か水ですすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

■1ヶ月に1~2回のお手入れ

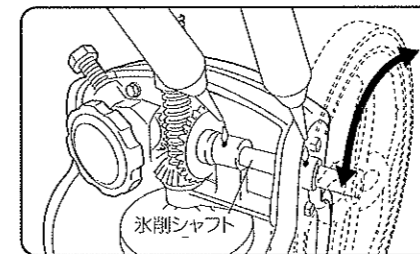
●給油

給油は一般的な機械油をご使用ください。

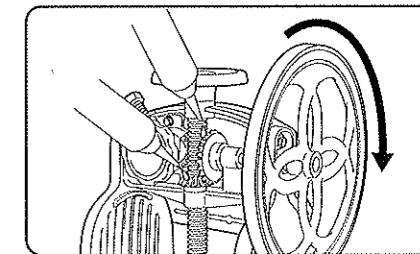
マシン油等の鉱物性の油でも結構です。植物油は使用しないでください。



1 上下ハンドルを回し、主軸を上下させながら上部より軸受と主軸に給油してください。



2 氷削シャフトの給油は、氷削シャフトを回しながら、2ヶ所の小穴から行なってください。



3 2個の歯車への給油は、上下ハンドルを下げ、氷削ハンドルを時計方向に回して歯車全体に給油してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと
 (刃物交換・お手入れ作業は除く)
 異常作動してケガをしたり、修理に不備があると故障の原因になります。



分解禁止

お願い

●故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
氷が削れない	●刃物が切れなくなっていますか?	●刃物を研ぐか交換してください。
	●刃先が円盤上面より出ていますか?	●刃物調節つまみを右に回し、刃物を出してください。
	●強弱調節ボルトがゆるくありませんか?	●強弱調節ボルトを右に回して強くしてください。
切削中に氷押えから氷がはずれる	●氷押えのクギが氷に食い込んでいますか?	●氷押えのクギを氷に確実に食い込ませてください。
	●強弱調節ボルトがゆるくありませんか?	●強弱調節ボルトを右に回してください。

譲渡・廃棄

譲渡

注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止め



テープ止め

廃棄

注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

仕様

型式	氷削能力 (kg/min)	円盤有効径 (mm)	外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	質量 (kg)	付属品
HA-110S	0.7	200	391×270×580	14.5	●氷削ハンドル ●バット ●取扱説明書 ●取付ネジ